

戦後70年——

亡国の集団的自衛権

それで誰を守るのか?!

—第24回千代田平和集会—

◆とき／7月30日（木）午後6時30分～

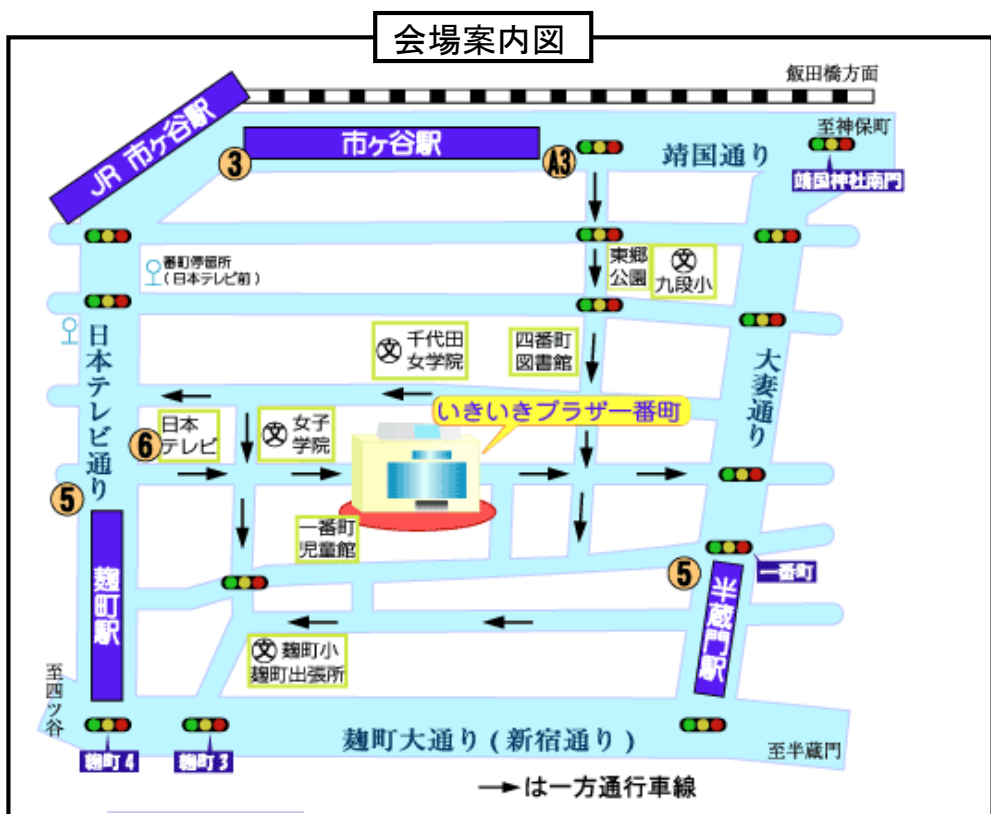
◆ところ／いきいきプラザ一番町・カスケードホール

◆講師／元内閣官房副長官補・柳澤協二さん

◆友情出演／合唱団「ソレイユ」

◆資料代／500円（学生・300円）

従来の政府見解を変えて、「戦争できる国」へひた走る安倍晋三内閣。戦後70年の節目の年に、なぜ？ 政府のなかで安全保障問題にかかわってきた、当事者から聞く。同じ過ち繰り返させないために私たちに求められているのは何か。考えてみたい。



—講師紹介—

柳澤協二(やなぎさわきょうじ)

1946年東京都生まれ。2004年～2009年、小泉・安倍・福田・麻生政権で内閣官房副長官補。退官後、メイラク戦争と日本の政策決定を検証、第2次安倍政権が進める「憲法解釈の見直し」に批判的立場で発言を続けている。

現在、NPO法人国際地政学研究所理事長、国民安保法制懇会員など。著書に、「亡国の集団的自衛権」（集英社新書、2015年）など多数。

主催・千代田区春闘共闘委員会／千代田九条の会（問い合わせ／千代田区労協TEL03-3264-2905）